



特 許 証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第5512287号
(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION)

半導体素子およびその製造方法

特許権者
(PATENTEE)

ドイツ連邦共和国 ベルリン ルドヴェア シ
ョセー 17
国籍 ドイツ連邦共和国
フォルシュングスフェアブント ベル
リン エー ファウ

発明者
(INVENTOR)

バハトートライデル, エルダート
ジドロフ, ヴィクトア
ヴェルフル, ヨアヒム

出願番号
(APPLICATION NUMBER)

特願2009-550291

出願日
(FILING DATE)

平成20年 2月21日(Febuary 21, 2008)

登録日
(REGISTRATION DATE)

平成26年 4月 4日(April 4, 2014)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成26年 4月 4日(April 4, 2014)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

羽藤秀雄



特許証送付先

住所

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目2番2号 富国

生命ビル 永井特許事務所

氏名

永井 冬紀

様

特許権設定登録通知書

特許番号

第5512287号

登録日

平成26年 4月 4日

出願番号

特願2009-550291

出願日

平成20年 2月21日

請求項の数

17

納付年分

第3年分まで

受領金額

17,100円

受領日

平成26年 3月26日

重要 特許料の納付について

- ・特許権を維持するには、存続期間の満了（特許出願の日から20年）までの各年について所定の特許料の納付が必要です。

なお、**第4年分以降の納付に関しては、特許庁から納付についての通知は送付いたしませんので、納付期限の管理はご自身でお願います。**

この通知を保管し、右側の特許料納付期限日の表で納付期限を確認してください。（**自動納付制度**もありですので、特許庁ホームページを参照してください。）

- ・第4年以降の各年分の特許料は、登録日の翌日を起算日として、納付済年分の満了日（以下「納付期限日」という）までに、次の年分の納付が必要です。

- ・納付期限日までに納付できなかったときは、その期間の経過後6ヶ月以内であれば特許料を追納することができま

- ・追納する場合は、納付すべき特許料のほか、その特許料と同額の割増特許料が必要

- ・追納できる期間内に納付しないときは、その特許権は、納付期限日にさかのぼって消滅したものとみなされます。

- ・特許料納付書の様式及び特許料の額については、以下を参照してください。

特許庁ホームページ

<http://www.jpo.go.jp/index.j.htm>

納付年分	納付期限日
第4年分	平成29年 4月 4日
第5年分	平成30年 4月 4日
第6年分	平成31年 4月 4日
第7年分	平成32年 4月 4日
第8年分	平成33年 4月 4日
第9年分	平成34年 4月 4日
第10年分	平成35年 4月 4日
第11年分	平成36年 4月 4日
第12年分	平成37年 4月 4日
第13年分	平成38年 4月 4日
第14年分	平成39年 4月 4日

(注) 納付期限日が行政機関の休日にあたるときは、その日の翌日間の末日となります。

問い合わせ先 審査業務課登録室
電話 03(3581)1101 (代表)
特許担当 内線 2708

Notice of Register of Patent

Patent number: 5512287

Date of Registration: 2014/04/04

Application number: 2009-550291

Date of Filing: 2008/02/21

Number of Claims: 17

Received Annual fees: 1st -3rd year

Amount of Received payment:

¥17100

Date of Received payment of annual fees: 2014/03/26

About annual fees

1. A patentee needs to pay, to maintain a patent right, the prescribed amount for each year from the date of the registration establishing the patent right to the expiration of the duration (20 years from the filing date). (Automatic payment may be available.)

2. The patent fees for each year from the fourth and subsequent years needs to be paid by the end of the year for which the patent fee has already been paid.

3. When a patentee is unable to pay the patent fees within the time limit, the patentee may make a late payment of the patent fees after the expiration of the said time limit, but not later than 6 months following the expiration of the said time limit.

4. If the patentee makes the late payment, in addition to the patent fees, a patent surcharge in the same amount as the patent fees needs to be paid.

5. When a patentee fails to pay, within the time limit for late payment, the patent fees and the patent surcharge, the patent

right is deemed to have been extinguished retroactively upon expiration of the time limit set as the paragraph 3.

Due date of payment of annual fees

Year	Due date
4th	2017/04/04
5th	2018/04/04
6th	2019/04/04
.	.
.	.
.	.
The expiration of the duration: 2028/02/21	